

慶良間の「ビッグアイランド」

渡嘉敷島は、慶良間諸島の中で最大の島です。沖縄県那覇市の約 32km 西に位置し、細長く、南北で全長 9km、最も広いところで東西 2.8km あります。景色はドラマティックであり、南北にまっすぐそびえる険しい山脈をもち、海拔は中央部（阿良利山）と北部（赤間山）で 200m 余り、南端には阿波連岬園地があり、風衝のマツの木で覆われた砂岩の平原が広がっています。

故に、島民は島の平坦で低い場所に暮らし、農業を行っています。（山の多い地形のおかげで、渡嘉敷にはたくさんの水源があり、稲作農業がしやすい環境です。）この島には全部で 3 か所の集落があります。慶良間諸島内海航路「みつしま」が到着する東海岸部の渡嘉敷が一番大きく、南方へ少し進んだ西海岸部にある渡嘉志久は、小さな集落になっています。渡嘉志久の南には阿波連があり、ここから阿嘉島・座間味島へフェリーが出発します。

険しい断崖の海岸線にもかかわらず、渡嘉敷には渡嘉志久ビーチや阿波連ビーチといったいくつかのどかなビーチがあります。山脈がそれらの周囲を厳しい気候から守っているのです。渡嘉敷島は、ドラマティックで壮観な景色を眺めるのに最適で、8 つの展望台と 2 つの遊歩道がある最高の散策場所です。